

新型コロナウイルス感染症に係る危機対策本部
(新型インフルエンザ等対策本部)
知事メッセージ

令和3年8月19日
青森県危機対策本部

新型コロナウイルス感染症に係る対応について

全国的に新規感染者数は急速に増加し、これまでに経験したことのない感染拡大となっており、政府は、緊急事態措置及びまん延防止等重点措置の実施区域の拡大と期間延長を決定いたしました。

青森県においても、8月に入り、帰省等による人の流れの増加や感染力が強いL452R変異株への置き換わりなどにより、危惧していたとおり感染は拡大しています。一昨日の新たな患者数は、公表日ベースで過去最多となる91名となり、直近1週間の人口10万人当たりの新規感染者数は国の指標でステージⅣに該当するなど、このまま感染拡大が進むと再び病床がひっ迫し、医療崩壊につながりかねない状況です。

お盆前には、県民の皆様方に加え、個別に農林漁業者や消防団、学校関係者などに対しても注意喚起と感染防止対策の徹底を呼びかけたところであり、こうした呼びかけに御協力いただきました全ての皆様に、心から感謝いたします。

しかしながら、今が感染拡大防止の山場です。最悪の事態を回避するために、何とでもここで踏みとどまらなければなりません。

繰り返しになりますが、今一度、県民の皆様方に感染拡大防止に向けた注意喚起とお願いをさせていただきます。ワクチン接種を完

了しても感染が確認される事例があるため、ワクチン接種をした方にも同様にお願いいたします。

まず、最近の事例としては、帰省などで県外から移動してきた方との接触、宴会やバーベキューなどの飲食の場面、運動に関する部活動やその後の飲食の場面などで感染が増加しており、こうした場面で感染リスクを回避する必要があります。また、家族や職場の誰かが感染し、家族内や職場内にすぐに広がった事例やちょっとした接触でも容易に感染した事例も多くなっており、注意が必要です。

感染拡大を防ぐために、風邪症状はもちろんのこと、だるさや喉・鼻の違和感が続くと感じたら、人との接触を避け、速やかに医療機関に相談してください。学校等も始まりますので、皆様方におかれましては、毎日の健康観察もお願いします。

その上で、マスクの適切な着用、人との距離の確保、こまめな手洗いや換気を、これまで以上に徹底しましょう。

会食等は、「普段一緒にいる人」と少人数・短時間で感染症対策を徹底し、また、お酒が入る場合は適量としてください。親族や旧友等だとしても「普段一緒にいない人」との会食・会合等は、大人数でなくても感染リスクが高まるので、できるだけ控えるようお願いいたします。

都道府県をまたぐ移動は、これまで以上に注意が必要です。

感染症患者が多数発生している県外地域との往来については、延期等を含め慎重に判断していただき、特に、緊急事態措置及びまん延防止等重点措置の実施区域との不要不急の往来を控えるようにし

てください。

どうしても移動する必要がある場合は、移動後2週間程度、健康観察をするとともに、不要な外出を控え、人との接触を最小限にとどめるようお願いいたします。

今後も感染拡大が続くようであれば、多くの方が利用する県有施設等の休館、学校における部活動や全校的なイベントなどにおける感染リスクが高い活動の禁止、社会経済活動の抑制などの措置を講じていかなければならない事態も想定されます。

そうした事態を避けるために、そして、新型コロナウイルス感染症から御自身や御家族、そしてお仲間の方々を守るためにも、お一人お一人が、あらゆる場面で感染リスクを避け、これまで以上に慎重な行動と感染防止対策を徹底するよう、御理解と御協力をお願い申し上げます。